



会員寄稿

1年後の自分をイメージできる人間が成功者となる

進路課長 村井 智士

連日の猛暑も徐々に和らぎ、日ごとに秋の気配が感じられる季節となりました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更されはしたものの、経験したことのないコロナ禍により生活様式がめまぐるしく変化し、いまだに地に足がついていない状態が続いているような気がします。ただ、学校ではいつもと変わらない風景、いつもと変わらない日常があり、そこにいれば友達もいて安心できる場所であることも間違いのない事実だと思います。つくづくいつも通りってありがたいものです。

学校では、「進路」という言葉をよく使います。「進路講演会」「進路希望」「進路指導室」など、学校生活の中で、「進路」という言葉から「将来の自分」をイメージすることも多いのではないのでしょうか。10年後、20年後の自分の将来を見据え、「どの就職先に」「どの大学に」「どの学部」に」ということを意識しながら、目的意識を持って「これから進んでいく道」を自分の理想に近づけようとできているのでしょうか。常に具体的な目標を設定し、日々の生活を送ってもらいたいと願います。目標設定において、低い目標設定では成長が望めません。また、高すぎる目標設定では到達をあきらめてしまうでしょう。大事なものは、自分にとってのモチベーションを最高レベルに引き上げることができる目標設定をすることです。努力は車のタイヤであり、目標はナビです。車のタイヤに問題があれば車は走れません。一方、ナビがなくても車は動きます。しかし、行ったことのない未知の場所にたどり着くには、ナビが必須の道具になります。努力は必要不可欠なものです。しかし、その努力の効率は設定する目標によって大きく変わります。だから、努力の前にまず目標ありきなのです。まずはその年の年間目標を明確に設定しましょう。結局、1年後の成長した自分をイメージできる人間が、成功者の仲間入りができるようになるのではないかと思います。

さて、3年生はいよいよ総合型選抜や学校推薦型選抜が始まるなど、受験が本格的にスタートする時期になりました。受験勉強はもちろん、大学入学共通テストの出願や、校内外に提出する様々な書類の準備・手続きなど、確実に遂行しなければならない事項も多くなり、心身ともに疲れやすい時期にもなります。ぜひしっかりと体調を管理しながら、自己の目標実現のために悔いの残らぬよう精一杯頑張ってください。1、2年生は慌ただしかった1学期とは違い、2学期は比較的落ち着いて学習できる時期になりますので、まず目標をしっかり定め、次に実現のための具体的な計画を立て、着実に学習に励んでほしいと思います。2学期は1年生が文理選択、2年生は3年生ゼロ学期を迎えるにあたって重要な時期となります。1年生は自分の進む進路に合わせて、いわゆる文系・理系を選択するという大きな決断をしなければなりません。ぜひ苦手科目から逃げるような決め方ではなく、自分が現在進みたいと考えている進路ではどういう力が求められているのか、どういう能力が必要となるのかを基盤として、しっかりと文理選択・科目選択をしてください。特に2年生は新課程初年度にあたり、入試科目等について各大学で変更されることも多いため、志望する学校や系統の入試情報をこまめに収集したり、学校の先生によく相談したりしながら、現時点で最適な進路選択ができるようにしてほしいと思います。また、2年生は夏のオープンキャンパスなどを経て、自身の志望する大学や学部がより明確化されてきたかと思いますので、志望校のホームページなどで最新の入試情報をよく確認して科目選択をしてください。ご家庭でもぜひ話題にさせていただき、共通理解を図っていただければと思います。

担任はもちろん、多くの教職員が各生徒に対して最大限の支援をします。何かご不明な点がありましたら、まずは担任の先生までご連絡をお願いします。保護者の皆様と共に、生徒一人一人の進路実現に向けてまい進していく所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。